

会 議 録		令和7年12月15日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府八幡警察署協議会（令和7年度第3回）		
開催日	令和7年12月10日（水曜日）		
時 間	午後1時30分から午後3時までの間（90分）		
場 所	京都府八幡警察署		
出席者	石川会長、田中副会長、上村委員、松浦委員、溝口委員、圓委員、山本委員 嵐委員、小川委員 計9人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長、警務係員 計11人		
諮 問 事 項	犯罪被害者支援について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 会長 2 署長挨拶 3 協議 諮問事項説明 犯罪被害者支援について ア 警察が取り組む「犯罪被害者支援」について～警務課長 イ 「犯罪被害者支援体験記」（警察庁官房長官賞受賞）の発表～警務課員 ウ 「京都アニメーションに対する放火殺人事件」における、 当時の犯罪被害者支援活動等について～署長		
	【委員】 幼い子供さんがお亡くなりになられた交通死亡事故の被害者御家族への支援の体験記や、京都アニメーションでの多数の被害者が出た事件発生時の被害者支援について、実際に携われた生々しい対応時のお話を伺い、警察の仕事とは思えないような任務であり、御苦労されている事が良く分かった。 犯罪被害者支援は大変な任務ではあるが、今後も被害者の方々に寄り添い、必要とされる支援をお願いしたい。 【委員】 以前、私が大型トラックの後方を走行中、大型トラックが前方の交差点を左折しようとした際、大型トラックの左側を走行していた子供を乗せた自転車の女性が左折し、大型トラックに巻き込まれ、自転車の親子が大型トラックの下敷きになるという大変痛ましい交通事故を目撃した。 私は、その事故の様子があまりにも衝撃的であったため、事故直後、自分		

会 議  
内 容

の行動の記憶がなくなり、その後、何日も「また交通事故が起きるのではないか」と不安にかられ、車のハンドルを持つことができなかったという経験をした。

今、思えば、痛ましい交通事故を目撃したことから軽いPTSDにかかっていたのではないかと思う。

犯罪による直接の被害者ではないが、目撃者や関係者などでも心に傷を負っている人もいると思うので、目撃者などへの配慮もお願いしたい。

**【委員】** 私は、八幡市役所の危機管理課で犯罪被害者支援を担当している。

八幡市が行っている犯罪被害者支援は、故意犯による犯罪被害者に支援を行っており、経済的な支援として僅かではあるが見舞金の支給や、住居のあっせんなど、行政機関として出来る限りの支援を行っているところである。

今回、警察が行っている犯罪被害者支援への取組や実際の支援活動の生々しい様子を聞き、警察が大変な支援活動に尽力しておられることを初めて知ることができた。

警察の取組を参考に、八幡市としても警察をはじめ、関係機関と連携して犯罪被害者支援に力を入れて行きたい。

**【警察】** 警察の犯罪被害者支援のベースになっているのは、何よりも「府民のために」という思いである。

そして、犯罪被害者支援は警察だけで行えるものではなく、今後とも犯罪被害者支援への活動に皆様の御理解と御協力をお願いしたい。

4 事務連絡

令和7年度第4回京都府八幡警察署協議会は、令和8年2月に開催する予定である。

以上

### 第3回京都府八幡警察署協議会の開催状況

